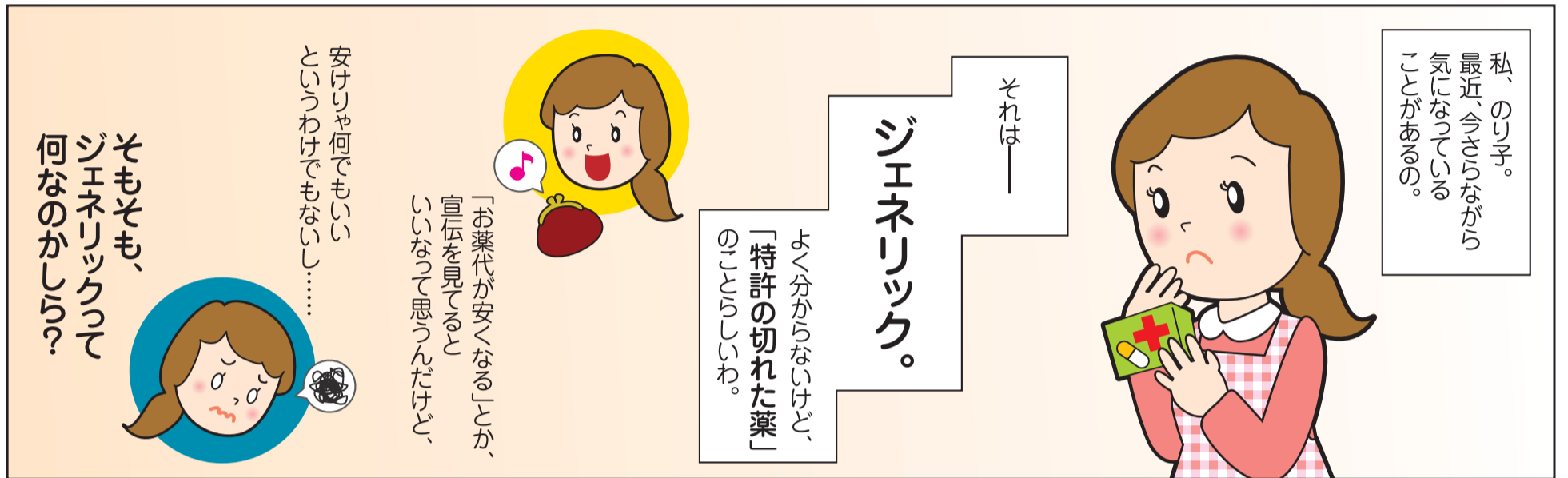


ジェネリック(後発医薬品)は 医師に相談して



ここが問題 1 新薬(先発医薬品)と「同じ成分、同じ効能」か？

新薬(先発医薬品)の承認申請では26項目のデータをチェック。ジェネリックは有効性・安全性は新薬で確認済みなので、安定性・同等性等のみをチェック。だから、副作用のチェックがもれるなどまるまる同一ではありません。

ここが問題 2 ジェネリックの効能に“ばらつき”がある

ジェネリックは新薬と比べて多くのメーカーで製造されていますが、新薬と比べるとチェック項目が少ないので、製法などが少し違っている場合があります。効用にはばらつきがあります。

ここが問題 3 ジェネリックの効能格差は最大40%!

新薬では効能格差が+5%~-5%の範囲ですが、ジェネリックは許容範囲が+20%~-20%であり、効き目が強いものと弱いものがあります。

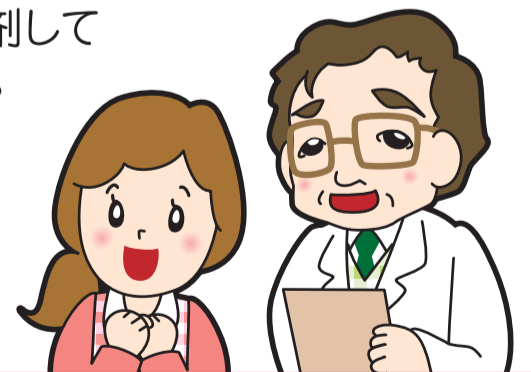
ここが問題 4 薬局で良く効くジェネリックはもらえるの？

薬局ごとに採用しているジェネリックは違って、よく効くジェネリックを調剤してもらえとは限りません。ジェネリックに切り替えるときは医師に相談しましょう。

先発医薬品とジェネリック

先発医薬品：薬剤が独自に開発され最初に流通する新薬。

ジェネリック(後発医薬品)：先発医薬品の特許期限等が切れて、同等の薬剤が製造できるようになってから作られる薬品、開発費等がかからずチェック項目も少ないので安い品質に問題があるものもある。



ジェネリックの中の安くてきちんと効くものを医師と相談して使いましょう

国民の健康と医療の向上をめざす
東京保険医協会

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-7 KDX新宿ビル4F
TEL03-5339-3601 FAX03-5339-3449 <http://www.hokeni.org/>

医療機関名